

平成22年度鹿沼秋季テニス大会

1. 期日・種目

(1) 本戦

- 9月12日(日) 男子・女子シングルス
- 10月 3日(日) ミックスダブルス・男子シングルの残り試合
- 10月17日(日) 男子・女子ダブルス
- 10月24日(日) 予備日
- 11月 7日(日) 予備日

(2) 交流大会

本戦の日程をすべて消化した場合、予備日のいずれか1日を利用し交流大会を開催します。

なお、交流大会の開催については、各クラブの連絡者に10/19(火)頃までに連絡します。

2. 会 場 鹿沼総合運動公園テニスコート

3. 主 催 鹿沼テニス協会

4. 大会役員

大会会長	河野 吉雄
大会副会長	佐藤 誠
大会委員	宿島 悟志(住友電工)
大会委員	屋代 紀明(ソイルタッチ)
大会委員	片山 邦治(KATA)

5. 運営主管

住友電工	(シングルス)
フレンド	(ミックスダブルス)
ソイルタッチ	(ダブルス)
KATA	(交流大会)

6. 大会本部 鹿沼総合運動公園テニスコートクラブハウス

7. 当日受付締切り時刻（下記時刻までに本部で受付をしてください。時間厳守）

(1) 本戦

① 9月12日（日）

男子シングルス 8：30 出場選手全員
女子シングルス 8：30 出場選手全員

② 10月3日（日）

ミックスダブルス 8：30 出場選手全員
男子シングルの残り試合 8：30 出場選手全員

③ 10月17日（日）

男子ダブルス 8：30 出場選手全員
女子ダブルス 8：30 出場選手全員

(2) 交流大会

8：50 参加者全員

- ◆ 今大会の会場は鹿沼総合運動公園のみです。
- ◆ 各日とも、8：00から1～7番コートを実験コートとして確保してありますのでご利用ください。

<本戦の注意事項等>

I 本戦の試合方法

1. 原則として、以下の方法で行います。いずれもセミアドバンテージ方式で行います。

①男子シングルス、男子ダブルス

- (1) トーナメントにより優勝を決定する。試合進行の具合によっては、男子シングルスの残り試合を、ミックスダブルスの日に行うこともある。
- (2) 準決勝前までを6ゲームマッチ（6-6タイブレーク）、準決勝からは8ゲームマッチ（8-8タイブレーク）で行う。
- (3) トーナメント初戦※敗戦者は、コンソレーションで引続き試合を行う。コンソレに参加しない場合は、初戦終了後に参加しない旨を本部に伝えること（黙って帰らないようにしてください）。コンソレは、6ゲーム先取とする。なお、コンソレは当日内にこなせる試合のみを実施するものとし、他日への繰り越しは行わない（コンソレ決勝まで行わず、途中打ち切りの場合があります）。※ 初戦とは、その日実際に対戦した最初の試合を指します。（不戦勝は、初戦に含めません。）

②女子シングルス、女子ダブルス、ミックスダブルス

- (1) 予選ブロックリーグ戦後、決勝トーナメント（シングルスは決勝リーグ）により優勝を決定する。
 - (2) 当日の欠席状況によって、全出場者数が5人（組）以下の場合は、予選を行わず、総当たりによる決勝リーグ戦を行う。全出場者数が5人（組）の場合は6ゲームマッチ（6-6タイブレーク）、4人（組）以下の場合は8ゲームマッチ（8-8タイブレーク）で行う。
 - (3) 予選ブロックリーグ戦は、大会当日、1ブロックが4組以上の場合は6ゲームマッチ（6-6タイブレーク）、3組以下の場合は8ゲームマッチ（8-8タイブレーク）で行う。なお、当日の欠席状況によっては、各ブロックの組数を同等にする観点から、組数が多いブロックから少ないブロックにエントリー位置を変更することもある。
 - (4) 決勝リーグのドローはリーグ1の1位者がa、リーグ2の1位者がb、リーグ3の1位者がc、と順次入るものとし、試合進行は予選ブロックリーグ戦と同様とする。
 - (5) 決勝リーグ（決勝トーナメント）は、8ゲームマッチ（8-8タイブレーク）とする（(2)の場合を除く）。
2. 審判は、セルフジャッジとする。
 3. 試合結果の報告は、トーナメントでは、勝者が速やかに試合ボールを持って大会本部に報告する。ブロックリーグ戦では、各ブロック内で記録しておきブロック内の試合終了後、1位の者がボールを持って結果を本部まで報告する。
 4. 各ブロック内の順位は、勝敗により決定する。同率の場合は、得失ゲーム数の多い方を優位とする。尚も同率の場合は、対戦成績における勝者を優位とする。
 5. 各選手は試合の進行について、呼び出し又は掲示に注意してしてください。試合に遅れると不戦敗となる場合がありますので、不用意に会場を離れないようにしてください。

II 注意事項

1. ウォームアップはサービス4本(フォア・バック各2本ずつ)のみ。（グラウンドストローク、ボレー等の練習は無しです。）
2. 怪我等（痙攣も含む）の処理時間は10分以内とし、1回限りとする。
3. その他、大会運営上必要なことは、大会役員で協議決定する。
4. 大会使用ボールは持ち帰らずに本部に戻してください。（交流大会で使用するため）
5. 雨天の場合は、本部前に延期の貼り紙を貼っておきますので確認してください。
6. 今大会の表彰は次の通りとします。
 - (1) 男子シングルス、女子シングルス：優勝、準優勝、3位（男子は計4名、女子は計3名）
 - (2) 男子ダブルス、ミックスダブルス：優勝、準優勝、3位（いずれも計4組）
 - (3) 女子ダブルス：優勝、準優勝（計2組）

Ⅲ セミアドバンテージ方式について

デュース (Deuce : 次の2ポイントを連続して取得した場合、ゲームを取得する) は一度だけ行います。その後再度ポイントが並んだ場合、次の1ポイントを取得した者がゲームを取得します。

再度ポイントが並んだ場合、レシーバーが左右どちらのサイドでレシーブするか選択します。(ミックスダブルスの場合は、サーバーと同性の選手がレシーバーとなります。)

<交流大会の注意事項等>

交流大会は、本戦の予備日を活用して開催します。

本戦の日程が、すべて予定通り消化された場合、交流大会は10月24日に行います。

本戦のいずれかの種目を雨天により予備日に順延した場合、予備日の10月24日を本戦で使用するため、交流大会が11月7日となります。

10月24日および11月7日ともに本戦で使用した場合、交流大会は中止(または時間短縮)となります。

なお、交流大会の開催については、別途、参加クラブの代表者にご連絡します。

I 交流試合の試合方法

(1) リーグ戦に近似した乱取り形式で対戦します。

(2) 6ゲーム先取・セミアドバンテージ方式で行います。

(3) 交流試合の終了時刻

15:45の時点で終了(時間切り)とします。

コート整備を各人で行い、16:00にはコート空けてください。

(4) 各人(ペア)4~5試合程度を予定しています。

(5) 交流試合の試合球は、本戦大会のセットボールを使用します。

以上